

令和 2 年度

まほろば環境衛生組合一般会計  
歳入歳出決算審査意見書

まほろば環境衛生組合監査委員

## 目 次

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の実施者	1
第4 審査の方法	1
第5 審査の結果	1
1 はじめに	2
2 決算の概況	2
(1) 決算の概要	2
(2) 性質別歳出の状況	2
3 歳入	2
(1) 歳入の概要	2
(2) 款別歳入の状況	2
4 歳出	3
(1) 歳出の概要	3
(2) 款別歳出の状況	3
5 財産に関する調書	3
6 基金運用状況	3
審査意見	4

- (注) 1 本書に用いる千円単位の数値は、単位未満を四捨五入、また比率は、小数点以下第1位或いは第2位を四捨五入した。したがって、合計と内訳の計、差引等が一致しない場合がある。  
2 該当数値はあるが、単位未満のものは「0.0」で表示した。  
3 皆無又は該当数値なしの場合は「—」で表示した。

## 第1 審査の対象

令和2年度まほろば環境衛生組合一般会計歳入歳出決算

## 第2 審査の期日

令和3年7月26日

## 第3 審査の実施者

まほろば環境衛生組合監査委員 徳久 亮太郎

同 監査委員 吉村 裕之

## 第4 審査の方法

審査に付された決算書及び決算附属書類が関係法令に適合して作成されているか、計数は正確であるか、かつ予算の執行は適正であるかを主眼として実施した。

管理者から送付されたまほろば環境衛生組合一般会計歳入歳出決算書及びその附属書類の内容を関係諸帳簿及び証拠書類等と照合することにより審査した。また、予算の執行状況については、例月現金出納検査等を参考とし、関係職員から説明を聴取した。

## 第5 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書、一般会計歳入歳出決算事項別明細書及び実質収支に関する調書の各計数は、関係法令に適合して作成されており、それらの計数は関係諸帳簿等と符合し、正確であり予算の執行はおおむね適正であると認めた。

なお、歳入歳出決算の概要及び審査意見は、次のとおりである。

## 1 はじめに

この決算は令和2年4月1日に設立したまほろば環境衛生組合の決算である。そのため、当年度のみの一般会計決算となり、前年度との比較はない。

## 2 決算の概況

### (1) 決算の概要

令和2年度一般会計の決算額及び決算収支状況は、予算現額5,127万1千円に対して、歳入決算額は5,127万252円（予算額に対する割合100.0%）、歳出決算額は3,724万3,587円（予算額に対する割合72.6%）、歳入歳出差引額は1,402万6,665円の黒字となっている。

### (2) 性質別歳出の状況

当年度の歳出を性質別に分類すると次のとおりである。

#### ア 義務的経費（人件費）

当年度は6万9,980円（構成比0.2%）で、これは、まほろば環境衛生組合議会の議員及び監査委員の報酬である。

#### イ その他の行政経費（物件費、補助費等）

当年度は3,717万3,607円（構成比99.8%）で、これは主に、ホームページ構築委託料152万9千円、測量・地質調査委託料426万8千円及び派遣職員給与等負担金3,000万7,713円である。

## 3 歳入

### (1) 歳入の概要

決算額は、予算現額5,127万1千円に対し、調定額5,127万252円、収入済額5,127万252円、不納欠損額0円、収入未済額0円である。

歳入決算の状況は、表1のとおりである。

表1 一般会計歳入決算の状況

(円)

会計年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額との比較
令和2年度	51,271,000	51,270,252	51,270,252	0	0	△748

### (2) 款別歳入の状況

#### ア 分担金及び負担金

組合構成町からの負担金の当年度決算額は5,127万円で、その内訳は、安堵町 707万6千円、広陵町 2,589万1千円、河合町 1,830万3千円である。

#### イ 国庫支出金

当年度に実施予定の施設にかかる計画が当初未定のため0円で予算計上してい

た。当該計画の国庫補助交付要綱が年度末近くに明確化されたことにより当年度中ではなく翌年度に交付されることとなった。よって、決算は0円である。

#### ウ 諸収入

当年度の収入済額は252円で、預金利子である。

### 4 歳出

#### (1) 歳出の概要

決算額は、予算現額5,127万1千円に対し、支出済額3,724万3,587円、不用額1,402万7,413円である。

歳出決算の状況は、表2のとおりである。

表2 一般会計歳出決算の状況

(円)

会計年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
令和2年度	51,271,000	37,243,587	0	14,027,413	14,027,413

#### (2) 款別歳出の状況

##### ア 議会費

組合議会議員に対する報酬等で決算額は75,390円である。

##### イ 総務費

当年度の決算額は3,290万197円で、その内訳は、一般管理費3,289万205円、監査委員費9,992円である。

##### ウ 衛生費

測量・地質調査委託料で決算額は426万8千円である。

##### エ 予備費

当年度の予備費の充当額は0円である。

### 5 財産に関する調書

#### (1) 公有財産

令和2年度決算における保有する土地及び建物はない。

#### (2) 物品

令和2年度決算における保有する物品はない。

#### (3) 債権

令和2年度決算における保有する債権はない。

#### (4) 基金

令和2年度決算における保有する基金はない。

#### 6 基金運用状況

令和2年度決算における地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額701万3,333円は、財政調整基金に積み立てるものである。

#### 【審査意見】

当年度は、新たなごみ処理中継施設の施設整備及び運営の構築に向けて予算編成が行われ、その執行に努められたところである。

歳出のうち、2款 総務費で予算現額3,919万5千円、支出済額3,290万197円で不用額629万4,803円であった。この不用額の要因は、12節 委託料のうち、組合ホームページ構築委託の入札を行い、落札額が予定価格を大きく下回ったことによるものと、当組合の財務会計システムについて安堵町の同システムの一部変更により使用を予定してシステム更新委託料150万円を予算計上したが、安堵町の財務会計システムが使用できないことが判明し、新たにシステム構築が必要となり、当年度中の開発完了が不可能であるため未執行となった。

また、3款 衛生費では、予算現額1,093万円、支出済額426万8千円で不用額666万2千円であった。不用額の要因は、12節 委託料のうち、中継施設建設にかかる測量・地質調査委託の入札を行い、落札額が予定価格を大きく下回ったことによるものと、環境影響評価委託料165万円を予算計上していたが、中継施設の設置が1年半延長したことに合わせて、評価委託の入札事務執行を見合わせたため未執行となった。

今後、新施設建設に向けて、その費用の予算に占める割合が高くなっていくものと思われる。事業の必要性、有効性、経済性等を鑑み、限られた財源の効率的・効果的な支出により、最小の経費で最大の効果をあげられるよう努められたい。